

令和6年度

東北ヘアモード学院

自己評価表

学校法人 関城学院

1.学校の教育理念、教育目標

「心を育て技を磨く」

人間性豊かな理美容師養成をモットーに時代の変化に順応する生活習慣の指導、勤勉で耐性の有る活力に満ちた人間教育を図る

教育の重点目標

- ・ 基本的生活習慣の励行（挨拶、ことば使い）
- ・ 態度形成の確立（規律、自主的行動、科学的探究心）
- ・ 就学習習慣の確立（自己教育力、自己啓発）
- ・ 職業観、人生観の確立（有資格者に依る業務独占業）
- ・ 国家試験対策強化（学科、実技）
- ・ 実社会への適応力の確立（忍耐、体力、協調）
- ・ 進路指導対策（二者、三者面談）

2.本年度の目標、計画

本校は、理容美容の専門的な知識・技術を習得させ、職業意識の高い人材を養成することで理容美容業界の人材需要に応えており、職業を通じて一人ひとりの夢や希望の実現を支援し、社会の公衆衛生を守る人材を育成する教育機関として大きな役割を果たしております。

我が国、我が県は活力ある社会を目指し、就職率アップ、雇用環境の改善のための様々な施策を講じています。一方、理容美容業界においては、企業からの求人は多い状態ですが、資質低下と高い離職率が問題となっております。どのような能力を備えた人材を輩出するかを考え、長期的な展望のもとで業界構造を想定し、そのための教育はいかにあるべきかを真剣に考えていくべき時であり、世の中に強くアピールするべきと考えます。理容美容職業教育の要となる本校は、十分に理容美容業界の要望を聞き、注意して、的確なる人材の養成に心がけ、真の職業教育はどのようなものかを真摯に考え、教育面に着実に反映させることが求められています。また、教育の質を担保するためにも、業界との良好な協力関係を構築し、教員の教育力向上のための研修、学習環境の整備を継続しなければなりません。

一関市に立地する本校が少子化と地方過疎化諸問題を抱える中で安定した学校運営が出来るようにするためには、本校の価値を確立し「選ばれる学校」になる必要があります。また、県外入学生推進、社会人受入、卒業生の学び直しも重要課題です。本校の価値を広報し、学生募集を広く展開することも必要と考えます。

次年度は以下の諸事業を積極的に推し進めて行くことが必須になります。

- 1) 教員の教育力向上、学校管理者の指導力向上、社会的変化を認識し教育に資するための研修を実施し、教職員の能力向上を図る。
- 2) 社会に広く本校を知らしめるために、効果的な広報活動を展開する。
- 3) 理容美容の仕事の有意性を多くの高校生や中学生に理解してもらうための職業教育活動を展開する。
- 4) 質の高い職業人育成のため、学習環境の整備、教育内容の見直しを図る。
- 5) 学生の学費負担軽減措置を模索する。
- 6) 広く寄付金を募り、教育の充実、発展のための原資とする。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念、教育目標

| 評価項目 | | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|------|--|-------------------------------|
| 1 | 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) | ④ 3 2 1 |
| 2 | 学校における職業教育の特色は何か | 4 ③ 2 1 |
| 3 | 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | ④ 3 2 1 |
| 4 | 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか | 4 ③ 2 1 |
| 5 | 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか | ④ 3 2 1 |

① 課題

4において、毎日教職員・学生が意識して学習に取り組めるよう更に周知を深めたい。

② 今後の改善方策

4において、教職員が毎日意識できるよう朝礼などで意識を高め、学生へ周知する機会を増やす事。

③ 特記事項

5において、業界のニーズを的確につかむため、各業界との連携体制を確保して、教育課程編成委員会を設置し、カリキュラムの編成を行っている。

(2) 学校運営

| 評価項目 | | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|------|--|-------------------------------|
| 1 | 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | ④ 3 2 1 |
| 2 | 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有 効に機能しているか | 4 ③ 2 1 |
| 3 | 人事、給与に関する規程等は整備されているか | 4 ③ 2 1 |
| 4 | 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 4 ③ 2 1 |
| 5 | 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 ③ 2 1 |
| 6 | 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4 ③ 2 1 |
| 7 | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 4 ③ 2 1 |

① 課題
特になし

② 今後の改善方策
特になし

③ 特記事項
特になし

(3) 教育活動

| 評価項目 | | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|------|---|-------------------------------|
| 1 | 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 (3) 2 1 |
| 2 | 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 (3) 2 1 |
| 3 | 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 (3) 2 1 |
| 4 | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 (3) 2 1 |
| 5 | 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | (4) 3 2 1 |
| 6 | 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか | (4) 3 2 1 |
| 7 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | (4) 3 2 1 |
| 8 | 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 (3) 2 1 |
| 9 | 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | (4) 3 2 1 |
| 10 | 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | (4) 3 2 1 |
| 11 | 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 (3) 2 1 |
| 12 | 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 (3) 2 1 |
| 13 | 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 4 (3) 2 1 |
| 14 | 職員の能力開発のための研修等が行われているか | 4 (3) 2 1 |

① 課題

14 において外部団体の主催する研修には参加しているが、本学院独自の研修をもっと増やしても良いと感じている。

② 今後の改善方策

上記課題において、理容美容分野に関して、実務に関する知識・技術・技能などについて知見のある企業と連携体制を確保し研修を実施したい。

③ 特記事項

特になし

(4) 学修成果

| 評価項目 | | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|------|---------------------------------------|-------------------------------|
| 1 | 就職率の向上が図られているか | ④ 3 2 1 |
| 2 | 資格取得率の向上が図られているか | 4 3 ② 1 |
| 3 | 退学率の低減が図られているか | 4 3 ② 1 |
| 4 | 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 4 ③ 2 1 |
| 5 | 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 4 ③ 2 1 |

① 課題

2 において、年度によって国試合格率に差があるが常に 100%を目指して欲しい。

3 において、退学者数を減らす努力を行って欲しい。

5 において、卒業後に連絡を取り効果的なカリキュラムは何だったかヒアリングを行っている

② 今後の改善方策

2 において、筆記試験対策の強化をする為、教員、講師との連携を深め早めの国試対策を実施する。

3 において、将来の目標を明確にするため、職業講話や、キャリア形成セミナーを実施する。

5 において、ヒアリングのみで終わらせずカリキュラムに落とし込むことを忘れない。

③ 特記事項

特になし

(5) 学生支援

| 評価項目 | | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|------|---|-------------------------------|
| 1 | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | ④ 3 2 1 |
| 2 | 学生相談に関する体制は整備されているか | ④ 3 2 1 |
| 3 | 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | ④ 3 2 1 |
| 4 | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 4 ③ 2 1 |
| 5 | 課外活動に対する支援体制は整備されているか | 4 ③ 2 1 |
| 6 | 学生の生活環境への支援は行われているか | ④ 3 2 1 |
| 7 | 保護者と適切に連携しているか | 4 ③ 2 1 |
| 8 | 卒業生への支援体制はあるか | 4 ③ 2 1 |
| 9 | 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 ③ 2 1 |
| 10 | 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 ③ 2 1 |

① 課題

7. 保護者に対し、授業参観などを実施し学内でどのような勉強をしているか周知する必要がある。

② 今後の改善方策

7において、授業参観や文化祭など来校できる機会を増やす。

③ 特記事項

学生寮(女子寮)の家賃1万円制度、特待生入学など学生の経済的負担が少なくなるよう最大限の努力をしている。

(6)教育環境

| 評価項目 | | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|------|--|-------------------------------|
| 1 | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 4 (3) 2 1 |
| 2 | 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 4 (3) 2 1 |
| 3 | 防災に対する体制は整備されているか | 4 (3) 2 1 |

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

メーカーが所有するスタジオでカラー講習を実施。
地元サロンでの実習や・インターンシップを実施。

(7)学生の受入れ募集

| 評価項目 | | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|------|-----------------------------|-------------------------------|
| 1 | 学生募集活動は、適正に行われているか | 4 (3) 2 1 |
| 2 | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | (4) 3 2 1 |
| 3 | 学納金は妥当なものとなっているか | (4) 3 2 1 |

① 課題

1において、学生募集活動は積極的に行っているが、理容科美容科ともは定員を満たしていない。

② 今後の改善方策

1において、各課程定員を満たすための方策を模索したい。

③ 特記事項

特になし

(8)財務

| 評 価 項 目 | | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|---------|--------------------------|-------------------------------|
| 1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 (3) 2 1 |
| 2 | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 (3) 2 1 |
| 3 | 財務について会計監査が適正に行われているか | 4 (3) 2 1 |
| 4 | 財務情報公開の体制整備はできているか | 4 3 (2) 1 |

① 課題

1において、財務基盤を安定させるため学生募集を継続的に行う。

② 今後の改善方策

1において中長期的に財務基盤を安定させるため、オープンキャンパスなどの内容を精査し、入学者確保に努める。

③ 特記事項

特になし

(9)法令等の遵守

| 評 価 項 目 | | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|---------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1 | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | (4) 3 2 1 |
| 2 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 (3) 2 1 |
| 3 | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 (3) 2 1 |
| 4 | 自己評価結果を公開しているか | 4 (3) 2 1 |

① 特記事項

特になし

(10)社会貢献・地域貢献

| 評 価 項 目 | | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|---------|---|-------------------------------|
| 1 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 (3) 2 1 |
| 2 | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 4 (3) 2 1 |
| 3 | 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか | 4 (3) 2 1 |

① 課題

2において依頼があった場合には積極的に参加しているが、参加人数が足りない場合がある

② 今後の改善方策

学生数を増やし、ボランティア活動などの魅力の伝え方を見直す。

③ 特記事項

TGC teen ICHINOSEKI のボランティアスタッフに参加。